

これまで、「イノシシ捕獲隊」を設置するには、深刻な農業被害があり、地区の周囲を防護柵で囲っている地域であることなどの要件がありました。このたび設置要件を緩和し、市街地等においても「イノシシ捕獲隊」を設置できるようになりました。

また、有資格者がいない自治会や企業等の法人においても「イノシシ捕獲協力隊」を設置することで、他地区の有資格者の応援を受けながら箱わなを設置することが可能になります。



自治会等（コミュニティ）や法人（企業等）に狩猟免許保持者（わな免許）がいますか？

いる

「イノシシ捕獲隊」を結成

◇玉野市イノシシ捕獲隊実施要綱に基づき、玉野市コミュニティ協議会に属する団体又はそれに準ずる団体（以下「自治会等」という）並びに法人が、狩猟免許所持者を中心に結成する自衛のための捕獲組織です。

捕獲隊を結成すると、狩猟免許を受けていない方も補助的に捕獲活動に参加できるようになります。

◆イノシシ捕獲隊設置要件

- ・捕獲活動のほか、山際への防護柵の設置や藪の刈り払いなどの環境整備を行う意欲のあること。
- ・組織の内部にわな猟免許を取得した者（以下「わな管理者」）1名以上、及びその活動を支援する補助者3名以上を配置できること。
- ・わな管理者及び補助者の候補者は、市が行う講習会を受講すること。

◆組織化のメリット

- ・箱わなの貸与（わな管理者1名につき上限2基）
- ・捕獲補助金（1頭当たり最大19,000円）
※捕獲補助金は、わな管理者に支払われます
- ・新規狩猟免許取得費用の助成（10,200円）
- ・狩猟免許更新費用の補助（更新手数料2,900円）（3年毎）
- ・狩猟者登録費用の補助（登録手数料1,800円＋保険代上限2,000円）（毎年度）
- ・捕獲支援サービス（無線受信機の貸与、エサ（米ぬか）の調達等）
- ・市民活動保険の適用（補助者のみ）

◆結成までの流れ（最短モデル）

当月……自治会等の規約に「イノシシ捕獲隊を置く」旨の条項を追加する（推奨）

- ……組織内にわな管理者1名以上を設置する
- ……市が開催する講習会を受講する
- ……事業実施申請書を提出する

翌月……《承認後》事業実施承認書、捕獲従事者証の交付を受ける

イノシシ捕獲隊の活動を開始する

いない

「イノシシ捕獲協力隊」を結成

◇玉野市イノシシ捕獲隊実施要綱に基づき、玉野市コミュニティ協議会に属する団体又はそれに準ずる団体（以下「自治会等」という）並びに法人が、他地区の有資格者の応援を得て行う自衛のための捕獲組織です。

協力隊の構成員は、捕獲わなの日常的な管理（見回りやえさ撒き等）を行います。

◆イノシシ捕獲協力隊設置要件

- ・捕獲活動のほか、山際への防護柵の設置や藪の刈り払いなどの環境整備を行う意欲のあること。
- ・組織の内部に外部のわな管理者の活動を支援する補助者3名以上を配置できること。
- ・補助者の候補者は、市が行う講習会を受講すること。

◆組織化のメリット

- ・箱わなの貸与（1団体につき上限2基）
- ・他地区に在住する資格を有した「わな管理者」に対して、市が仲介して応援を依頼（捕獲補助金は、わな管理者に支払われます。）
- ・捕獲支援サービス（無線受信機の貸与、エサ（米ぬか）の調達等）
- ・市民活動保険の適用

◆結成までの流れ（最短モデル）

当月……自治会等の規約に「イノシシ捕獲協力隊を置く」旨の条項を追加する（推奨）

- ……市が開催する講習会を受講する
- ……他地区の有資格者にわな管理者を委任
- ……事業実施申請書を提出する

翌月……《承認後》事業実施承認書、捕獲従事者証の交付を受ける

イノシシ捕獲協力隊の活動を開始する

捕獲隊への移行も可

市では、狩猟免許（わな）新規取得費用（講習会費5,000円＋申請手数料5,200円）の補助を行っています。